

中野たかふみ 市政レポート Vol.12

大阪維新の会 堺市議会議員 (堺市北区選出)



NEW REPORT

批判やあげ足を取る政治ではなく、よく学び、考え、提案をして未来を変革する。結果に繋げるための政治を行います。

今回は主に令和4年12月の議会における質疑などをお伝えします。

教育

堺市立“すべての学校園”で連絡等のオンライン化を実現へ！



学校への遅刻・欠席連絡や、連絡書類の配布はスマートフォンなどで確認ができるように。また、行事参加やアンケートの返信も、スマートフォンなどで行えるように提案し、令和5年度から新たなシステムを導入し、堺市立の“すべての小・中学校園”で実施ができるようになります。

これにより、緊急時の一斉連絡の改善や利便性の向上、大幅な業務負担の軽減、印刷物や

ゴミの軽減などにも繋がります。

その他、給食費や学校徴収金のキャッシュレス・クラウド決済の導入、学校トイレの洋式化の推進、給食時の黙食の見直し、校則を含めた指導体制の見直し、置き勉の推進を求めました。

負担を軽減し、子ども達と向き合う時間を増やすためにも、教育環境のさらなる向上に努めます。(令和2年12月～令和4年12月質疑)

子宮頸がんワクチン 積極的勧奨の再開



平成25年4月にHPVワクチンの定期接種事業が開始し、現在まで継続して実施されていますが、平成25年6月からは積極的な勧奨が差し控えられてきました。

その後研究も進み、ワクチンの有効性や安全性がリスクを上回る場合は活用することが望ましいと考え、積極的な勧奨の再開を求め、令和4年度から全国や堺市で再開されることとなりました。

その他、過去3回の接種を受けていない平成9年度～19年度生まれの女性を対象に、公費で接種できるキャッチアップ事業(令和7年度末まで)も実施されることとなりました。(令和元年12月～令和4年12月質疑)

定期予防接種の広域化

全国では定期予防接種の広域化が進められていますが、大阪・堺では住民票がある場所での接種が原則となっています。

かかりつけ医が堺市外の方や、予防接種機会の拡大などを目的に、定期予防接種の広域化を提案しました。(令和4年12月質疑)



堺市地域医療情報 ネットワークシステム

EHR(エレクトロニックヘルスレコード:電子健康記録)の構築を提案し、令和4年6月から運用が開始しました。

これにより、患者さんの費用負担はなく、病院とかかりつけ医で情報を共有し、検査や薬の処方などの重複防止、検査結果や診療内容をスムーズに確認することができ、患者さんの負担軽減や医療費の削減などにも繋がります。(令和元年12月質疑)

性感染症対策の強化



新型コロナウイルス感染症だけでなく、全国的に梅毒(性感染症)が流行・拡大しています。(堺市では令和2年と比較して2倍以上の報告増)

現在、堺市が実施している梅毒やHIVなどの感染症の検査体制は、各区で月に1回・平日午前中の1時間30分のみとなっており、大阪市の平日週1～3回・土日検査などと比べ、とても大きな差があることから、検査日や時間など検査体制の拡充を提案しました。

学校での健康・性教育の推進も求め、令和3年度から全ての学校園で年に1回、外部有資格者による指導が開始しています。(令和元年12月～令和4年12月質疑)

医療

防災・災害対策

災害時の栄養・食生活支援 栄養士会との協定締結

災害時に高齢者や障がい者の方を対象とした、介護食（嚥下困難食やとろみ剤など）を確保・供給できる体制の整備を提案し、令和3年10月に実現しました。（令和3年6月質疑）

災害時は、妊産婦や乳幼児などの心身の負担の増加や栄養状態は悪化し、母乳が出にくくなるなど、その後の発育や健康に大きな影響を及ぼします。全ての方が健康を維持

できるように、栄養機能食品の確保・供給の整備や被災者の栄養指導支援を目的に、栄養士会との協定締結を提案し、令和4年12月に実現しました。（令和4年12月質疑）



災害時における デジタル技術の活用



災害時の避難支援、生活再建、避難所運営に係る業務は、主に手作業や人員を要することが多く、現場での負担が大きくなります。

非接触型の受付業務や情報の管理・共有などデジタル技術を活用し、効率的な避難所運営を行うこと。また、安否確認や避難訓練の実施、災害用チャットボットなどのデジタル技術の活用を提案。

罹災証明書などのオンライン申請は令和4年度内に実現することになりました。（令和2年12月～令和4年12月質疑）

まちづくり

なかもずエリアの再整備

なかもず北側のロータリーや駅前広場を再編し、スーパーや図書館、保育、オフィス、ホテル機能を有した駅直結型の複合商業施設を誘致、地下空間を整備し、施設を經由して、改札口へ繋げるなどを提案。

また、北部エリアを一体的に再整備を行い、駅周辺の賑わいの創出、周辺へ足を運ぶ仕掛けづくりや、地域活性化へ繋がる施策の推進を求めました。（令和3年6月～令和4年12月質疑）



アーバンスポーツの活用

BMX自転車競技などのアーバンスポーツを活用したまちづくりを推進するため、2023年から開催予定の自転車競技UCIスーパー世界選手権（第3回大会2031年）やカメラゲームなどのアーバンスポーツイベントを堺市・大阪府で呼び込むことや、ららぽーと堺などでのイベントの実施。

サイクルシティ堺として、アーバンスポーツツーリズムの推進を行い、交流人口やスポーツ人口の増加、地域や経済の活性化に繋がる施策の推進を求めました。（令和4年9月～12月質疑）

地域公共交通計画の策定

堺市には、公共交通の方向性などを定めた計画はなく、それらを提案し、令和4年度内に協議会の設置、令和6年度に地域公共交通計画の策定を目指すこととなりました。

また、野遠町や中村町で運行されている乗合タクシーの

運行は、2時間に1本・1日5便と利便性が乏しいと感じ、それらの改善を目的に、ダイヤ制の見直しや結節停留所の増設、オンデマンド型交通の実証実験などを提案しました。

新金岡町の集合住宅エリアにおいては、高齢者や妊産婦の方を対象とした新たな移動支援、次世代モビリティの活用の検討を求めました。（令和4年12月質疑）

地域のこと



長尾中学校前 横断歩道の改修



永山古墳 フェンスの改修



イオンモール北花田前の車道



百舌鳥梅町 城の山古墳の整備

●発行元／中野たかふみ 堺市議会議員（堺市北区）

1986年1月30日 堺市北区生まれ 妻・子ども3人
新宝珠幼、帝塚山学院小、松本歯科大学卒業、神奈川歯科大学大学院：単位取得退学
中野歯科医院 歯科医師 歯学博士／大阪維新の会 堺市議団 政調副会長／
日本維新の会 広報局／前 通所介護施設運営／前 学校法人理事

SNSでも市政報告や活動報告を行っています♪



公式HP



Twitter



Facebook